

教えて!

富山 けいざい



新型コロナのワクチン開発って？

◆海外で投与始まる／安全性の評価不可欠

Q－新型コロナウイルスのワクチン投与が海外で始まっているみたい。どんな種類があるの。

A－病原体となる微生物（ウイルスや細菌）を発症しない程度に弱毒化した上で使用する「生ワクチン」、感染する能力をなくした微生物の全体または一部を使用する「不活化ワクチン」、さらにウイルスの遺伝情報を使って作るワクチンがあります。



米コロラド州で、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を受ける医師（右）（JERILEE・BENNETT／THE GAZETTE・AP＝共同）

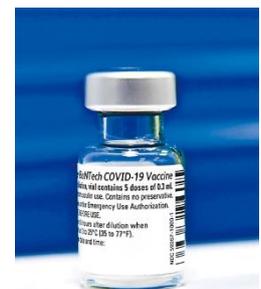
Q－どんな効果があるかな。

A－病気を治す治療薬とは異なり、ワクチンは接種することによって、体内にあらかじめ免疫を作り、病気にかかりにくくしたり（感染予防）、かかっても発症しにくくしたり（発症予防）、症状を軽く（重症化予防）するなどの効果が期待されます。1回ないし2回打つとほぼ一生免疫ができるものと、インフルエンザのように毎年接種が必要なものがあり、まだよく分かっていません。

Q－どうやって開発しているの。

A－通常、基礎研究から、動物実験などの非臨床試験、人を対象とした臨床試験、薬事申請・審査・承認、生産・供給まで、年単位での期間を要します。有効性と安全性の評価が不可欠なのです。WHO（世界保健機関）によると、臨床試験に入っているワクチン候補は52種類。このほか非臨床試験の段階のものが162種類あります。今月から英国と米国、カナダ、ロシアなどが接種を始めました。

国内でもアンジェスと塩野義製薬の各グループが開発するワクチンが初期の臨床試験の段階に進んでいるほか、2021年3月までの臨床試験開始を目標としているものが複数あります。日本政府は、開発が成功した場合に安全で有効なワクチンをできるだけ早期に国民に供給することを目指しています。



ファイザーなどが開発した新型コロナウイルス感染症のワクチン（ロイター＝共同）

（北陸経済研究所の内田常雄が解説しました。随時掲載します）